

「便益」が費用上回る

三島駅南口
東街区再開発

市が分析結果示す

三島市議会2月定例会は28日、代表質問を行い、市は広域健康医療拠点を整備する三島駅南口東街区再開発事業について、社会的な利便性の向上を表す「便益」が投資費用を上回るとする分析結果の速報値を示した。土屋利絵氏(改革みしま)への答弁。

市当局は「別の観点や手法により評価すること、さまざま効果も見えてくる」とし、バリアフリー機能の向上や関連プロジェクトとの相乗効果など「実際に発生する便益はさらに大きくなる」との見解を示した。

費用便益分析は事業

によって得られる社会

的な利便性や快適性を
貨幣価値に換算し、事

業費で割る手法。国の

マニュアルに基づき、

経済効率性の観点から

事業を評価する。1・

0を超えると便益が費

このほか、フォーラム三島の佐藤寛文氏、共産の服部正平氏も登壇した。新年度当初予算関連の8議案は常任